

高品質桃生産

～剪定会・病害虫研修会～

もも生産協議会（倉内信一会長）は3月4日、平川市の園地で桃の剪定会を開きました。会員約50人が参加。高品質な桃生産のための栽培技術向上と知識習得を目的とし、斜立主幹形の剪定などを学びました。

秋田県鹿角市の佐藤志峰さんが講師を務め、剪定ポイントや注意点について説明しながら実演をしました。「桃は他の果樹に比べて剪定時の切り口が枯れこみやすいため、高切りするなどして、枯れこみ対策を講ずること」と注意を呼びかけました。

参加した会員は「剪定作業や樹形などについてしっかり学ぶことができ、とても勉強になる」と話しました。

剪定会終了後にはJA本店に移動し令和3年度用病害虫研修会を開き、桃防除暦及び農薬資材の使用方法について確認しました。



剪定を学ぶ会員



病害虫研修会

特産品で食農教育

～JAきたみらいから野菜贈呈～

当JAは、全国で「みらい」の名称を持つ9つのJAで構成する「みらいサミット」が縁で、北海道のJAきたみらい（大坪広則組合長）と交流があり、7年前から合同で食農教育を実施しています。

これまでは、JAきたみらいが黒石市と平川市を訪れ、馬鈴薯（スノーマーチ）と玉ねぎの贈呈式を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山内敏組合長が代わりに贈呈しました。2月には、当JAからJAきたみらいへりんごを贈り、JAきたみらい管内の3市町へ贈呈されました。



山内組合長（左）から目録を受けとった黒石市長（右）

確定申告正しく

～青色申告記帳学習会～

平賀青色申告会（長内義昭会長）は2月8日から22日、申告の時期に向け、記帳学習会を平賀基幹グリーンセンターで開きました。会員が確定申告を正しくできるよう毎年実施しており、JA職員らが会員1人1人に税制改正や注意点などを説明。決算書、確定申告書作成のサポートをしました。

JA職員は「会員1人1人が知識を身に付け、自立して確定申告をできるようにするために学習会を行っている。今後も、会員が確定申告を正しくできるようサポートしていきたい」と話しました。



確定申告を学ぶ会員